



佐伯発、元気な企業と働く人々をご紹介。
今回はインドネシアの畑で農産物を周年収穫しながら
自社工場で製品に加工する天然素材。



天然素材株式会社

住所：佐伯市西浜10834-60
電話：22-4151
FAX：22-4157
URL：https://ten-nen.co.jp/

代表者：山中 浩
設立年月：1996年2月
資本金：5,000万円
売上高：21億円
従業員数：36人

ヒトと企業

VOL.10

今井 樹さん(29)
入社10年／営業課

顧客ニーズに応える農産物と総菜

—天然素材とは？

農産物を栽培・収穫し、お客様の要望に合わせた形で販売しています。シイタケで例えると、産地(国産・国外産)、商品の状態(乾燥・水煮)、加工(カット・スライス・フロック・ホーシ)がそれぞれ選べ、更にミリ単位で長さや大きさなどを設定。大手食品会社によるカップラーメンのかやく、スパゲティソースの商材の部として使われているんです。また、佐伯の工場(大分工場)では常温・冷凍総菜を作り、各地に出荷しています。

—インドネシアで農産物を栽培

10数年前よりインドネシアの高地に畑を所有して、契約農家の皆さん

にダイコンやニラ、サツマイモなどを栽培してもらっています。インドネシアは空気や水が澄んでいて、農産物を育てるのに絶好の環境。現地には契約工場もあり、ダイコンであればパウダーや千切りダイコン、おでん用の水煮輪切りに加工しています。

—小売品を増やして生活を豊かに

人手不足が深刻な病院食や宅食の製造現場で、私たちの製品を使ってもらう調理時間を少しでも短くしたり、献立の一つになったりできるよう取組んでいます。今後はインドネシア事業を拡大して食材品目を増やしながら、大分工場では味付けした製品を手掛けていきたいです。

スタッフいちおし佐伯スポット 唄げんか大橋



大分県と宮崎県の県境近くに位置し、北川ダムに架かっています。逆Y字型の2本の主塔があり、そこから扇状に張られた100本のケーブルに支えられている橋です。

小粋なTOPICS

他部署を経験することで業務を効率化

—どんな仕事をしてる？

西詰さん(以下㊟) 大分工場で作っている商品の在庫や輸入品の入庫を管理している。作業ではお客様の要望に合わせてガムテープの色を変えたりして正確な表示を心掛けています。
今井さん(以下㊟) お客様に新商品を紹介したり、必要とされている農産物や加工方法を聞き取ったり。様々な会社の人に出会える楽しさがある業務だね。

—会社のことが好き

清田さん(以下㊟) 大分工場で冷凍総菜と水煮製品を作っているよ。製造課をまとめる立場にいるから、入社したての従業員に仕事を教えることが増えてきたな。それぞれの個性を尊重しながら伝えるようにしている。

㊟ 社員の年齢が比較的若くて、休みは和気あいあいとしているよね。仕事も遊びも気兼ねなく話せる雰囲気が入っているよ。
㊟ 20代前半の社員が多くて、管理職の年齢も若い傾向にあるしね。僕はコロナ以前には海外に行く機会もあったし、現地でのいろんな経験をさせてもらったよ。

㊟ 個人的には物流課の業務も経験できたことがよかったかな。箱詰めがめ度良し悪しがわかっている分、作業の間違いが起こりにくいんだ。
㊟ 僕も製造課で学んだことを生かして、お客様に現場の設備や加工方法を丁寧に伝えることができて

—現在の課題

西詰 友博さん(35)
入社8年／物流課

清田 京兵さん(31)
入社6年／製造課

㊟ 今、物流課には研修期間中の社員が2人いて、課内のことを覚えてもらっているところ。指導役は初めてだから、同じ内容を教えるにも相手によって言葉を選んだり工夫しているんだ。

㊟ まずは売り上げを伸ばしているよ。他部署のことを知っているのと、業務がスムーズに進むよね。

㊟ 営業職は社外の対応をするために社内の作業を把握しておくことも大切。受注内容によっては日程調整などが必要になってくるからね。
㊟ 引き続き従業員の指導を頑張りたいな。人に教えることで、自分の業務見直しにもなるし、作業の効率化になるはずだから。